

コロナの先を見据えて

桜の花が開花し、不安に陥る人びとの心を癒しています。

このたびはコロナ禍に対してご支援をお願いしたところ、たくさんの方からカンパや応援メッセージを頂戴しました。大変なのは私たちだけではないのに、本当にありがたいことと感謝しています。

今回の出来事では、多くの皆さんが不安やイライラと闘っていらっしゃるに察します。私たちも、楽しみにしていた出会いがなくなり、収入の道を失い、一時は本当に暗い気持ちになりましたが、最近、これは多くのことを学んだり考えたりする機会を与えられたのではないかとポジティブに考えるようになりました。

そもそも、克服すべき課題はコロナだけではありません。大量消費、大量廃棄の経済により、地球は悲鳴をあげているのです。人びとが無理やり暮らしを矯正させられているこの時こそ、これまでの社会の歪みを是正したり、地域が団結して新しいことに挑戦するチャンスでしょう。

宿泊営業や大勢集まる集会は当面自粛の予定ですが、この先恐れられている食糧難に備える意味でも、自らの自立経済を目指す意味でも、今年はずっとより生産に力を入れていきます。エコビレッジの仲間が大切に育てた野菜や果物、加工品を札幌で販売するマルシェ事業も始める予定です。

この困難をみんなで乗り越えて、サステイナブルな未来を創っていきましょう。

みなさまの健康と、1日も早くこの騒動が終息することをお祈りしつつ。

2020年5月

NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト理事長
坂本純科

2020年度 会員、対コロナカンパ 引き続き募集中です

活動を応援してください！

私たちの活動は会員さんの会費・寄付によって支えられています。
2万円以上の寄付を頂いた方には、ワインぶどう収穫ご招待やエコビレッジ宿泊チケットなどをプレゼントいたします。

- ◆正会員 年会費一口10,000円（総会の議決権あり）
- ◆サポート会員 年会費一口5,000円

・ゆうちょ銀行から

【記号】19070 【番号】38886511

【口座名義】

トクヒ)ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト

・ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。

【口座番号】02700-9-85080

【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・北洋銀行から

【口座番号】宮の森支店 普通 4031861

【口座名義】

トクヒ)ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト

・クレジットカード

右記のQRコードから Syncable
(シンカブル)というウェブサイトに飛び、
必要事項をご記入いただいた上、
お手続きをお願いいたします。



入会のお申込み・お問合せは下記まで

【余市エコビレッジ】

余市郡余市町登町 1863

*JR 余市駅からバスで10分
(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩3分

【Tel/Fax】

0135-22-6666

【Eメールアドレス】

y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】

http://ecovillage.greenwebs.net/



エコビレッジ
note

VOL.42 JUN.



作成・発行

NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

■エコカレッジ:余市町登町 1863

■office:札幌市中央区宮ヶ丘 2丁目 1-1-303

Hokkaido Eco-village Promotion Project

小さな羊飼いプロジェクト

お母さん羊を購入するため、

引き続き羊オーナーさんを募集しています

今年も羊がエコビレッジにやって来ました。羊飼いは爪切り・毛刈りの修行、そして初の試みとなる越冬・繁殖に備え、積雪にも耐えられる羊小屋を建設中です。繁殖のため、お母さん羊の購入を目標にあと5名程、オーナーさんを募集しています。

羊オーナー制度について

エコビレッジでは、2018年から羊オーナー制度を立ち上げ、応援していただく「オーナー」さんに羊飼いの学びを共有し、返礼品としてお肉を届けています。

食べるということは命をいただくこと。

食べ物を大切に尊敬しながら食べること、自分の食べるものがどのように育てられ、だれに育てられたのか、自分自身でたくさん考えながら、オーナーさんにももう一度考えてもらう機会を提供しています。

羊と羊飼いを応援したいという人はどうぞよろしくお願ひします！



毛刈り修行中の羊飼い

✉ E-mail

koji.ecovillage.2019@gmail.com(担当者直通)

f Facebook

https://www.facebook.com/alittleshepherdp
roject.yoichi/

ワインぶどう育っています



4月12日の枝上げ作業と共に、今年のワインぶどう作業が始まりました。新しく植えたツヴァイゲルトレーベ、ヤマソーヴィニオンは新芽が芽吹き始めています。暖かくなるこれからの季節は、雑草との戦いが始まります。9月下旬の収穫を目指し、会員の皆さんと一緒に作業を進めていきます。



一緒にワインの栽培・醸造を学んでみませんか？

クラブメンバーは、月に1~2回程度、「登醸造」さんの指導を受けながら、有機JAS認定のある自然系農薬のみを使用する栽培方法や、搾汁や瓶詰めにも電気を使わず人力で行う昔ながらの方法など、エコビレッジに合った管理と一緒に学ぶことができます。メンバーの方には、成果本数に応じて出来上がったワインをプレゼント！

昨年は天候に恵まれて、前年度の2.5倍の収量を記録しました。

気になる方は本紙記載のエコビレッジ連絡先までお気軽にお問合せください。

ワインぶどうジュース 販売のお知らせ

みんなで育てたワインぶどうで、
今年もぶどうジュースを作りました。

大黒山から吹きおろし、モンガク谷を吹き抜ける風と、太陽が育むエコビレッジのワインぶどう。ワインぶどうならではの、しっかりとした味わいと酸味が特徴です。商品の購入はHP、Facebookで詳細をご確認の上ご注文ください。

無添加・無加糖・ストレート



春の活動報告

春のワークキャンプ (2020.4.29~5.6)

ワインブドウ棚の杭打ちや羊放牧フェンスの設置、畑起こしからジャガイモの植え付けまで、春の農作業を手伝っていただき、山菜を採って春の味覚を満喫しました。

「電化製品を排除するのではなく、バランスの取れたエコが大切ということに気がつけた」と参加者の人たちが学びをシェアしてくれました。



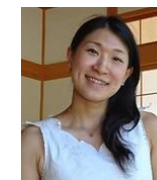
春の野草観察会 (2020.5.2)

手稲さと川探検隊の鈴木玲さんを講師に迎え、春の野草を観察しました。エコビレッジの森林内を散策しながら、13名の参加者とエゾエンゴサクやニリンソウ、エンレイソウなど、色とりどりの春の妖精達を見ることができました。

(この事業は、「ほっくー基金 北海道生物多様性保全助成制度」の支援を受け、実施しました。)



新スタッフ紹介



齋藤 ともよ

エコビレッジの宿泊担当をしています。(コロナ後の)エコビレッジと余市をめぐぐるツアーを企画中。特技はアコーディオンです。



小林 薫

食品メーカーで商品開発をしていました。退職後アジア学院に進学、卒業し4月にエコビレッジにきました。いつかヤギを飼いたいです。